

## 「人を笑顔にすること」(文責:新留)

12月5日から8日まで東京に修学旅行に行きました。私は今回の修学旅行で学んだことは、人を笑顔にするためにはまず「自分から楽しむ」ということを学びました。四季劇団の「アラジン」では、観客に喜んでもらうために大きな声を出し、全力を尽くしていることが分かりました。ディズニーランドでは、キャストがお客様にどのようにしたら楽しんでもらえるか工夫をしていました。買い物をした際には、「いってらっしゃいませ!」と声をかけていました。その声かけをされることで、さらに楽しめるのではないかと考えました。アトラクションでは、お客様全員に声をかけ「楽しんでください」と言っていました。声をかけることで思い切り楽しめるのではないかと思います。将来、介護をする際には積極的に利用者の方に声をかけるようにし、安心してもらえるような介護福祉士になりたいです。利用者の方がいい人生であったと思っただけのような介護を行えるようにしたいです。介助をするだけが介護福祉士の仕事ではなく、利用者の方の人生を最後まで輝かせ、笑顔届ける介護福祉士になりたいです。



## 「福祉の魅力を伝える活動を通して」(文責:武末)

私たちは、12月14日に指宿市で開催された「南薩地区専門高校フェスタ」に参加しました。専門高校フェスタでは、福祉科の紹介として「モルック」と「福祉用具体験」を南薩地域の中学生の方々に体験していただきました。私は、モルックの係をし、笑顔を意識しながら中学生と一緒にモルックをすることができました。モルックの体験をしていただく時に、自分の役割だけに集中するのではなく、中学生の方々とコミュニケーションをとる事を忘れずに行うことができました。ただ楽しんでもらうのではなく、自分たちも楽しみながら行うことや盛り上げるなどその場の雰囲気づくりを行うことが大切だと学びました。自分の伝えたいことが上手く伝わらなかった時には、他のメンバーと協力をしながら説明を行いました。メンバー同士で協力をすることで、自分や相手に足りないことを補うことができ、協調性が高まりました。最初は、ルール等が分からず戸惑っていた中学生も徐々に慣れていき、終わる頃には、「楽しかった」と言ってもらえたのでうれしかったです。今回学んだことは、今後の活動にも生かして頑張りたいです。



### 【編集後記】

十二月五日から三泊四日、修学旅行(関東方面)がありました。生活福祉科では、学科別研修の一環で介護福祉職の職能団体である公益社団法人日本介護福祉士会に訪問させていただき、職能団体の役割などについて職員の方から直接学ばず研修を設定しました。自らの目指す国家資格はどのような役割が期待されているのか、専門職としての資質を向上させるための研修体系の仕組みなどについて学ぶことが出来ました。また劇団四季の観劇では、自らが楽しみながら全力で表現をすることで思いが相手に伝わることを感じていた生徒がいました。日々の経験から何を学び、自分の人生にどのように生かしていくのか、まさに「主体的に学ぶ」ことの重要性を感じた時間になりました。2023年もわずかな時間になりました。迎える年が皆さんや社会全体に笑顔のあふれる年であることを願っています。

(学級担任 岩川亮太)